

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2014.7.31 No.163

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>

## 連日、集中豪雨が発生 6、7月で137件を超える浸水被害… 水害被害の根絶を！ 緊急申し入れを実施

緊急の申し入れを実施



### 行政の姿勢が問われる

七月二十四日の浸水被害。マ  
ンホールから水が噴き出す。



住宅の地下室にも浸水。荻窪  
消防団第三分団（私も含め）  
が排水作業を行なう。写真は消  
防団第三分団フェイスブックより。

このような事態を受け、七月二十九日（火）  
党区議団は、杉並区行政による被害状況の調査  
と速やかな水害対策を求めて、緊急の申し入れ  
を行ないました。

連日の集中豪雨により、杉並区内で浸水被害  
が激増しています。六月二十四日と二十九日、  
七月二十四日の集中豪雨時は、特に被害が大き  
く、区内全域で道路冠水や床上・床下浸水等が  
発生しました。これからの季節は集中豪雨も増  
え、更なる被害の発生が懸念されています。

### 今夏、既に浸水被害が激増 緊急対策は待ったなし！

申し入れでは、杉並区の担  
当所管に対し、浸水被害地域  
の現状や住民の要望を伝え  
ました。  
区からは「連日の被害の  
発生を重く受け止めており、  
申し入れの内容は検討する  
」旨が示されました。

### 申し入れの要旨（抜粋）申し入れの詳細は ホームページに掲載

- 被災者救援について
  - ・速やかに現地へ赴き、被害の実態を把握すること。
  - ・各種支援制度を紹介すること。 他
- 水害多発地域ごとの緊急対策を講じること。
  - ・水害発生が危険視される場合は職員が多発地域へ赴き、住民要望に対応できるようにすること。
  - ・車両避難の際、駐車違反とならないよう、特別駐車証発行など対策を講じること。
  - ・水害地域の建築物に逆流防止弁設置を推進すること。
  - ・水害多発地域の下水形状を把握する作業を開始すること。
  - ・雨水集中を防ぐバイパス設置等を検討すること。 他
- 杉並区独自の水害対策に抜本的な転換を図ること
  - ・透水性舗装と雨水マス設置を大幅に拡充すること。
  - ・建築物等の雨水流出抑制をさらに徹底すること。 他
- 総合治水宣言を行い、総合治水計画を策定すること。
  - ・国や東京都の都市開発の在り方を厳しく追及し、対策に必要な予算や職員の措置を求めること。 他

### 情報提供にご協力ください

昨今の都市型水害は河川の氾濫に起因しない  
「局地的に発生するケース」も増えており、被害  
実態を正確に把握することが重要です。  
水害被害等が発生した際には、ぜひ、情報提供  
にご協力ください。

そもそも水害対策は国や都との連携が不可欠  
であり、下水道管の排水能力の向上や雨水を貯め  
る貯留管の設置等、抜本的な対策が必要です。  
しかし、連日の集中豪雨が発生している現状に  
対しては、杉並区行政でも「出来得る限りのあら  
ゆる努力」を尽くすことが求められています。  
引き続き、水害対策の拡充を求めます。

各分野の要望を聞き取り

# 杉並区内各団体と懇談会を実施中

## 住民の要望を区政に届けます

日本共産党杉並区議団は毎年、杉並区内の各団体との懇談会を行なっています。それぞれの団体、各分野から杉並区政への要望や問題点を聞き取り、議会活動に反映しています。また、次年度の予算要望にも活かしています。



党区議団で関係所管に申し入れ

### 寄せられた要望は速やかに対応！

懇談で寄せられた要望を基に申し入れを実施しました。

#### 「視覚障がい者の移動の安全確保に関する申し入れ」を実施

- ・エスコートゾーンの設置
- ・音響信号機の増設
- ・音響信号機のメンテナンス等を求めました。

懇談にご協力頂ける際は  
お気軽にご連絡ください  
090-9973-0941

## 党区議団からの情報提供も積極的に

懇談会では、党区議団からの情報提供も重視しています。

例えば、用地確保が困難な都市部において福祉施設の整備などは各団体が共通して抱える課題です。現在、区内には廃止決定された国家公務員宿舎があり、間もなく気象庁が管轄する高円寺住宅（六四〇〇㎡程度）の跡地活用の検討が始まります。こうした用地の取得に向け、各団体が運動を広げてもらえるよう、積極的な情報提供も行なっています。

住民との懇談を通じて、区民福祉の向上に取り組みます。



高円寺住宅（高円寺北四丁目・気象庁管轄）

## 育メン日誌

古くからの仲間たち 友情を力に

杉並区の日本共産党区議団は青年議員を多く抱える「日本全国にも珍しい」区議団です。先の補欠選挙で当選した上保区議を加えて、7名の議員の内、20代と30代の議員が5名という構成です。

私たち若手議員は、議員になる前からの友人同士であり、少し前には想像もなかったような人生の変化です。

若手議員の中には、子育て世代（私も含め）も増え、今や家族ぐるみの付き合いとなっています。家族も含めて、みんなが集まると感慨深いものがあります。



絵本を読む原田議員。それにしても凄い表情（笑）

こうした繋がりは、日頃の私たちの活動の大きな力になっています。

今後も、友情と団結を力に党区議団一丸となつて、頑張りたいと思います。

## 外環道 大深度地下を使用しても地上部分には各種制限が…

住民を欺く説明を繰り返してきた国の責任が問われる

7月29日、杉並区内で外環道計画のオープンハウスが行なわれました。地域住民と共に、私も参加しました。

今回のオープンハウスでは、地上拡幅部の「都市計画変更素案」の問題と共に、外環本線の地上に住む地権者への権利制限について、会場が紛糾しました。

この間、国は「大深度地下を使用することにより、地上部への影響はない」と説明してきましたが、実際には地上部にも各種の制限（土地の売買等に関する許可申請など）がかかることが明らかになりました。これまでの国の説明は住民を欺くものであり、重大な問題です。

### 地権者住民には周知されず

そもそも、住民への周知が蔑ろにされているため「事実を知らない」住民が圧倒的多数であり、現状を知った住民には衝撃が広がっています。

このようなずさんな計画の進め方は許されません。

国の説明責任も満足に果たされないなか、計画そのものを直ちに凍結するべきです。



計画地域に突如設置された「権利制限を伝える看板」。



会場は紛糾。